第25号　　平成29年11月１日発行

津名高校同窓会会報

チーム津名高校同窓会 今、一歩前へ！

同窓会長　髙島　玲子（高16回）

２０２０年東京オリンピックの年に、母校　津名高校は１００周年を迎えます。

本来ならば、会報は２年に１回発行していましたが、節目のイベントに備えるため、８ヶ月前倒しで発行することになりました。

また、１００周年記念事業にあたり、環境整備を始めています。

その１つとして、同窓会のホームページを立ち上げました。『誰もがみんな参加したくなる同窓会』は、プロに頼らず同窓生の有志で協力しながら、見やすく、興味満載の素晴らしいものになりました。有難うございました。

その中で、事業推進の資金の寄付をお願いしていますが、特に、ふるさと納税制度を利用した寄付について説明しています。

同窓生が、母校に心を寄せると同時に、地元淡路市（島）にもその経済効果としての連携が図れるので、まさに一石二鳥の提案です。国の方針により、今回同封の冊子は11月30日で有効期限が切れますので、11月中に振り込んでいただいて、希望の産品を受け取って下さい。12月からは、淡路市民には産品はなく、寄付のみとなりますので、よろしくお願いいたします。

津名高校の同窓生の多くは、島外に生活基盤を置いています。全体の盛り上がりに欠けると指摘を受ける所以はそこにあります。阪神支部・東京支部の活躍は素晴らしいものがありますが、地理的要因で母校本体との連携は希薄になります。

それらを、機能的に一体感を醸成するためＳＮＳを利用し、地理的ハンディキャップを補う、これが魅力あるホームページの神髄です。

皆さま、まずこれを試して、そして楽しんで下さい。ホームページを開くとカリヨンの校歌を聴くことができます。

あなたは、故郷を身近に感じることができます。

そしてもう1つは、母校への直接的な支援です。津名高校のシンボルであるカリヨンは、8月26日のたそがれコンサートにおいて見事に復活いたしました。三津啓祐顧問の母校を想う熱いお気持ちによるものです。私も、ピアノとピッチングマシーンを寄贈させていただきました。その他にも匿名で多くの方々が協力して下さっています。

更に、淡路市役所が通学のための市バスの整備を着々と進めてくれています。

２０２０年まであと3年。あっという間です。

淡路市の「すぐやる窓口」のコンセプトを借りるとすれば、「チーム津名高校同窓会、今、一歩前へ！」ではないでしょうか。

今後とも、母校津名高校の発展のためにご協力をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

編集・発行　兵庫県立津名高等学校同窓会　〒656-2131　兵庫県淡路市志筑249-1　TEL.0799-62-0071　　印刷　SALAT

創立１００周年に向けて

校長　中村　勝年

同窓生の皆様、日頃は本校の教育活動にご支援いただき、心より感謝申し上げます。ご承知の通り、津名高校は２０２０年には創立１００周年を迎えます。今年の３月には同窓会、ＰＴＡ、学校の三者の代表が集まり、創立１００周年実行委員会を立ち上げ、９月までにすでに３回、実行委員会を開催し、記念事業の内容がほぼ固まりつつあります。

学校としても創立１００周年を機に、在学生、職員、同窓生や地域、関係の方々が心を一つに結集し、皆さんの絆とこれからの発展の礎を築きたいと考えております。

現時点では、記念事業として、記念誌の発行、式典・アトラクション、教育設備の充実、校史資料室の整備などが計画されております。

これらの事業は、これまでの１００年の歩みを振り返り、さらにこれからの１００年のより一層の発展の礎を築くものであります。

津名高校は現在、生徒数は５９１名で、学業にスポーツに文化活動に文武両道で頑張っています。卒業後の進路も６割は大学、１割弱は短大、２～３割は専門学校、１割は就職と多様です。学習指導、進路指導の成果と生徒の努力により、生徒たちも大きな成果を残してくれています。ベネッセからも「進路結果で、近畿で伸び率ナンバーワン」と言われるくらいまでに成長しています。

津名高校としても皆さんの期待に応え、「主体的で対話的で、深い学び」「言語能力」「探究能力」「英語の四技能」など、次代に求められる教育内容の充実を図り、多方面で次代を担える人材を育成したいと考えております。そのために、現在、学習指導の取組みの改善や資質向上に向けて、鋭意努力をしております。さらにそれらをサポートする意味で、１００周年事業の一環で、生徒に直接還元できる教育設備の充実を図ることにより、さらに教育効果がアップし、ソフトウェアとハードウェアの両面が揃った他校にない大きな強みと魅力を兼備できると確信しております。

同窓生の皆様には、以上の趣旨をご理解いただき、津名高校の発展のためにご支援いただきますようお願い申し上げます。

兵庫県立津名高等学校創立１００周年にむけて

創立１００周年記念行事・記念事業の実施にむけて、学校・ＰＴＡ・同窓会の三者が集い本年３月に第１回実行委員会が開催され、以後３回の実行委員会の協議をへて、下記の事業計画の方針を決定、準備を始めております。今後各計画内容の詳細について検討を重ねるとともに、募金活動を積極的に推進していくことになります。皆様のご理解とさらなるご支援をお願い申し上げます。

・記念式典　２０２０年10月11日（日）、しづかホール

なお記念式典後、記念祝賀会を予定しております。

・記念事業
①創立１００周年記念誌発行
②教育設備の充実
③記念式典アトラクション：関西フィルハーモニー管弦楽団
④校史資料室の開設
⑤カリヨン修復（２０１７年８月完了）

・募金目標額　３，０００万円

※募金方法については、同封の趣意書、資料をご覧ください。

なお、２０，０００円以上の寄付をいただいた方には記念誌を贈呈いたします。

記念誌は、２０１０年10月以降にお届けいたします。

創立１００周年にむけてのロードマップ

		（寄付金目標額）
２０１７年度（平成29年度）	第１回実行委員会開催 寄付金募集開始、記念誌作成作業開始 カリヨン修復完了 同窓会報発行 教育設備の充実	12月末 ２，０００万円
２０１８年度（平成30年度）	校史資料室内装工事開始 同窓会総会	↓
２０１９年度（平成31年度）	記念誌原稿集約 校史資料室展示ケース・書架等購入	↓
２０２０年度（平成32年度）	同窓会報発行、同窓会総会 校史資料室開設、記念誌完成、記念誌配布作業 **記念式典　記念祝賀会**	↓ ８月末 ３，０００万円
２０２１年度（平成33年度）	事業・会計報告、実行委員会解散	

「津名高校27回生　還暦を祝う会」１２１名集う！

津名高校第27回生が、学年理事 中川富夫さんと不動千賀子さんを代表とする世話人24名の呼びかけのもと、８月13日にウエスティンホテル淡路において42年ぶりの再会と還暦を祝いました。恩師の宇城隆先生、柳圭吉先生、荒木謙先生、小川元延先生を囲んでの歓談、懐かしい青春時代の映像、有志のフラダンスとバンド演奏、小川先生指揮による校歌斉唱と、感動溢れる３時間を過ごしました。当日のアンケートの結果、次回同窓会の開催は３年後の２０２０年（津名高校百周年）と決まりました。27回生諸君！　２０２０年に必ず再会しよう!!

株式会社ツダ
TUDA
建築工事・リフォーム工事
土木工事・水道衛生設備
空調設備・工具販売
住所：淡路市志筑3077　TEL：0799-62-1661

MITSU
ミツ精機株式会社
ミツテック株式会社

医療法人　社団
高島眼科クリニック
TEL　0799(62)0120
〒656-2131　淡路市志筑
医学博士 高島玲子（高16回）

母校への貢献に感謝

カリヨン完全修復

ミツ精機・ミツテック 様
代表：三津啓祐氏（高3回）

度重なる故障により長く音が途絶えていた津名高校のシンボル〝カリヨン〟が、ミツ精機・ミツテック様の全面的なご支援によって修復施工され、8月末に完全復活を遂げました。

〝カリヨン〟は、創立70周年の記念として平成2年に旧校舎の体育館前に設置されたもので、その重厚な旋律は美しく響き渡り、津名高校のみならず近隣の皆様にも愛される街のシンボルとなっていました。ところが年を経て、新校舎への移設工事も重なって、故障が頻発し音が鳴らなくなってしまいました。数回の部分修理、また平成25年には生徒の署名活動による改修もされましたが奏功せず、ふたたび沈黙の鐘となっていました。

平成32年の津名高校100周年に向けて、校内でも〝カリヨン〟の音を再び響かせようという気運が高まり、100周年記念事業の一つとして再修理が検討されました。しかし膨大な費用がネックとなり、計画は宙に浮いた状態となっていたところ、PTA役員の方からの情報を得られたミツ精機・ミツテック様が全面協力を申し出てくださり、8月上旬に修復工事が施工されました。

この本格的な修理によって、〝カリヨン〟は設置当時の音色が甦っただけでなく、キーボードでの手動生演奏、音源のデータ化によってどのような曲も演奏できるという新しい機能も付加され、秀逸を極めた楽器として生まれ変わりました。

8月26日の「たそがれコンサート」では、地域の皆様にその素晴らしい演奏が披露されました。そして、10月12日の創立記念式典にて正式にお披露目され、津名高校より感謝状が贈呈されました。

グランドピアノ寄贈

髙島　玲子 氏
同窓会長（高16回）

髙島玲子氏がグランドピアノ（ヤマハC6X）を寄贈され、10月3日に津名高校音楽室へ届けられました。

音楽室で授業に使われていたピアノは、経年劣化が激しく、調律してもすぐに音程が狂うような状態でした。そのため学校では、県へ更新を願い出ましたが、諸般の事情により実現しないままとなっていました。その窮状が髙島氏の耳に届き、すぐさまピアノの寄贈を申し出てくださいました。

音楽担当教員より、「音楽の響き渡る学校を目指しており、この度のピアノの寄贈によって、その理想へ大きく一歩近づくことが出来ました。」との喜びの声が同窓会へ届いています。

また髙島氏は、野球部へもピッチングマシンを寄贈くださいました。

10月12日の創立記念式典にて、津名高校より感謝状が贈呈されました。

陶芸作品寄贈

西村　裕夫 氏
陶芸家（高18回）

平成28年12月に、陶芸家の西村裕夫氏が、陶芸活動の集大成とも言える作品11点と電動ろくろ一式を母校へ寄贈くださいました。

津名高校では、今年1月26・27日に開催した「文化部展示会」において、華道部員が西村氏の花器に花を生けて作品を披露し、大先輩と現役生のコラボ展が実現しました。

1月26日に、津名高校より感謝状が贈呈されました。

また西村氏には、9月に4回ご来校いただいて、美術選択の生徒を対象に陶芸作品制作の授業をしていただきました。

ホームページが完成しています！

津名花子：ホームページが立ち上がったと聞いたのですが、一般会員にどんな意味があるのですか？いろいろ教えてください。

同窓会太郎：まず、パソコンでHPを見ましょう。『100年　津名高校』で検索します。

津名花子：うああ、母校が出てきました。カリヨンが聞けるのね。懐かしい音。HPは写真が見られ、音も聞ける事が分かりました。

同窓会太郎：ジャズライブの経験は？本部・支部だより更に津名支部ジャズCONCERTをクリックしてください。

津名花子：エッ同窓会で、それも淡路島でジャズライブをやったのですか。知っていたら絶対参加したのに。HPは動画も可能なんですね。校歌のジャズアレンジが聴けるのね。

同窓会太郎：他にも「川柳」「奈良市内万葉歌碑巡り」「ビール工場見学と試飲」「たそがれコンサート」「校歌作曲大澤寿人の音楽会」「第2回ジャズライブ」等実施した事これからやる事の情報が満載です。適宜新しい情報を載せております。

津名花子：なんだか楽しくなってきた。時々チェックしなくっちゃあ。催し情報以外にどんな事が載っていますか？

同窓会太郎：100周年記念事業等の本部からの連絡・恩師だより・会員近況・校歌の歴史ほかです。まだ立ち上げて半年です。これからどんどん増やしていこうと計画しています。

津名花子：私たちはどうすればいいですか？

同窓会太郎：HPを開ける人が一人でも増えるようPRをお願いします。そのことが「参加したくなる同窓会」に繋がります。

津名花子：分かりました。さっそく、同期のライン仲間に知らせます。

ホームページ委員会

同窓会幹事代行承ります。
TEL 0120-953-070
受付時間 月～金 9:30～12:00／13:00～17:00
SALAT
株式会社 サラト
※㈱サラトは津名高校同窓会名簿管理会社です。

仲野会計事務所
税理士　仲　野　廣　巳（高14回）
税理士　仲　野　　喬（高51回）
〒656-2305　兵庫県淡路市浦862-2　TEL 0799-74-3022
e-mail　hiromi-n@topaz.ocn.ne.jp　FAX 0799-74-5454

海のそば、昭和の香り漂う、ほのぼのパーク！
ONOKORO
淡路ワールドパーク
TEL.0799-62-1192

総会のご案内

日時　平成30年８月25日(土)

14：30～　総会
15：20～　懇親会
18：00～　たそがれコンサート見学
(会場：津名高校)

場所　淡路ワールドパークONOKORO
TEL 0799−62−1192

会費　5,000円

みなさま
お誘いあわせの上、
多数ご出席
ください。

※参加ご希望の方は８月10日(金)までに津名高校同窓会事務局(0799-62-0071)までご連絡をお願いします。

副支部長・書記の選任について

次の各支部については長年にわたり支部長のみ決められ、副支部長・書記が不在でした。ついては100周年を迎えるにあたり次の通り副支部長・書記を選任し組織の強化の第一歩を踏み出すことにいたします。各支部会員の皆様には該当の選任会へ出席いただき立候補・投票いただきたくご案内いたします。

昨年の総会でこの２年間に取り組む課題を打ち出しました。その一つが「情報ルートの再構築」でした。今後各支部の三役で話し合い第二歩第三歩と歩を進めて参ります。

1．該当支部
津名支部　東淡支部　北淡支部　一宮支部

2．選　任
副支部長　２名　書記　１名

3．選任方法
該当支部所属の会員で、後記記載の選任会に出席した会員の過半数が賛同した者を選任します。

4．選 任 会
開催日時　平成30年１月24日㈬18：00から
場　所　エンジ会館

5．諸 連 絡
今後の連絡・報告はホームページに掲載のことといたします。

平成29年11月１日　同窓会長　髙島　玲子

今回のご案内には、以下のものを封入しております。ご確認の上、ご協力の程よろしくお願い致します。

・会　報　・創立100周年記念事業趣意書　・振込用紙
・ふるさと納税案内　・アンケートハガキ

※この度、津名高校創立100周年に向けてより良い活動が出来ますよう、皆様のご意見を収集したいと考えております。
(アンケートハガキを同封しています。)
ご回答は**FAX（0799-62-0545）**または**Email（tsunako.dosokai@gmail.com）**でいただいても構いません。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

津名高校100年の歴史を残す
―校史資料提供のお願い―

創立100周年記念事業の一つとして校史資料室の開設を計画しております。現在、資料の保管と展示のための一室を芸術棟１階に確保していただいており、資料収集作業を進めています。同窓生、在校生、そしてこれから津名高校で学ぶ一人ひとりが、母校津名高校への誇りをさらに感じることのできる場にしたいと考えております。

つきましては校史資料の収集にご協力をお願いいたします。皆様の津名高時代の写真や制服、教科書など、ご提供していただけるものがありましたら同窓会事務局までご連絡ください。写真については、こちらで複写の上お返しいたします。

編集後記

秋の深まりとともに、校舎から見る淡路の山々や大阪湾、紀淡海峡の景色が一段と鮮やかになってきました。カリヨンの曲もこの季節にふさわしい「旅愁」になりました。津名高校の環境の素晴らしさをあらためて感じるこのごろです。

100周年記念にむけての準備が始まり、これからいよいよ募金活動が本格的にスタートします。同封の趣意書の内容をご理解いただき、母校津名高校への皆様のさらなるご支援をお願いいたします。

また、ご案内のとおりホームページが開設され、同窓生のあらたな交流の場が生まれました。100周年記念にむけての情報発信の強力な手段として活用していくとともに、さらに内容の充実をはかっていきたいと考えています。

末筆ながら皆様のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(同窓会事務局)